

内壁タイル貼り用エポキシ樹脂系接着剤



# ボンドEK370

JIS A 5548 (陶磁器質タイル用接着剤タイプ I) 適合

EK370はJIS A 5548 (陶磁器質タイル用接着剤タイプ I) 適合の、内壁タイル用の高性能エポキシ樹脂系接着剤です。接着性、耐水性、耐湿性に優れており、浴室廻りなど水掛りになる個所の内壁タイル施工に最適です。

## ■用途

- 台所、洗面所、トイレ、湯沸場、洗濯場、浴室廻りなど水掛りになる個所での内装タイルの接着
- その他、内壁への陶磁器質タイルの接着

## ■特長

- 作業性：使い易い等量混合型で混合が容易です。コテ・ヘラ等の作業性に優れ、タイルのズレ落ちを起こさずにきれいにおさまります。
- 耐水性：完全硬化後の耐水、耐湿性に優れます。
- 接着性：コンクリート、モルタル、合板、せっこうボード、スレートなど広範囲の多孔質下地への接着が可能です。

## ■性状

品名 項目	EK370S		EK370W	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン
外観	白色パテ状	灰色パテ状	白色パテ状	灰色パテ状
比重	1.65±0.10		1.65±0.10	
混合比	主剤：硬化剤=1：1 (質量比)		主剤：硬化剤=1：1 (質量比)	
可使用時間	70±10分 (20℃、1kg)		60±10分 (20℃、1kg)	
貼り付け可能時間	70分以内 (20℃)		60分以内 (20℃)	
養生時間	24時間以上 (20℃)		24時間以上 (20℃)	

※数値は規格値ではありません。

## ■施工方法 (タイル圧着の場合)

### 下地処理

- ホコリ、レイタンス、汚れ、油脂等の付着物を取り除き、下地を清掃します。EK370は湿潤面に対しても施工できますが、乾燥状態の方がより強い接着力が得られます。下地面は平滑にし、できるだけ乾燥状態になるように努めてください。



### 接着剤の混合

- 主剤と硬化剤を1：1 (質量比) の混合比で計量し、平板上や浅底の空の丸缶等に取り出し、均一なねずみ色になるまで、十分に混合攪拌します。一度に混合する量は、可使用時間内に使い切れる量にしてください。



### 接着剤の塗布

- 一回の塗布は、1~2m<sup>2</sup>程度が目安です。平ゴテで厚さ約3mmに塗り広げた後、すぐに専用のクシ目ゴテでクシ目を立て、余分なEK370をかき落とします。このとき、塗布面の厚み、形状、塗布量が均一になるように留意し、タイルとの密着性を向上させてください。かき落としたEK370はコテ板に取り、次の塗布に使用します。標準の塗布量は、1.5~2kg/m<sup>2</sup>です。



### タイルの貼り付け

- EK370の塗布後、直ちに貼り始め、塗布後60分以内を目標に貼り終えてください。接着面にタイルをもみ込みながら十分に圧着させ、基準線に沿って貼りあげます。途中ときどきタイルをはがしてみ、接着状態を確認しながら作業を進めてください。圧着させてもなじまなかった場合には、もう一度クシ目ゴテを入れ直すか、かき落として塗布し直します。

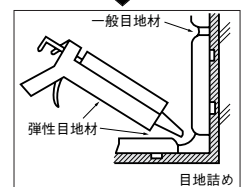


### 目地詰め

- 1日以上養生し、タイルが動かなくなったことを確認した後、目地材を充てんします。入隅部、開口部、サッシ廻り、木部等、下地に伸縮性材料を使用している場合や、開口部の取り合い部の目地には、必ず弾性シーリング材を使用し、下地の動きを逃がすようにしてください。

※器具類に付着した接着剤は、硬化する前に有機溶剤でふき取ってください。

※低温時は硬化が著しく遅れます。原則として5℃以上の環境で使用してください。



技術データ

性能：JIS A 5548（陶磁器質タイル用接着剤）のタイプIに基づく品質試験

※JIS A 5548・タイプIにおける用途区分

湿っている下地に貼り付け後、長期にわたって水及び温水の影響を受ける個所に用いるもの。

●試験条件 被着体：1.モルタル板（湿潤）/陶磁器質タイル 2.モルタル板（湿潤）/磁器質タイル

試験方法：引張接着強さ試験

試験条件：標準：20±2℃、(65±10)%で168時間硬化養生する。  
 温水浸せき：5±2℃で168時間硬化養生後、50±2℃の温水中に24時間浸せきする。  
 熱劣化：標準養生後、60±2℃に672時間暴露する。  
 低温硬化：5±2℃で840時間硬化養生する。  
 アルカリ水中：標準養生後、20±2℃の水酸化カルシウム飽和水溶液に48時間浸せきする。  
 その他：23±2℃、(50±5)%

1. 陶器質タイルによる試験結果 [(財) 接着剤研究所による試験結果]

試験項目		試験結果						判定基準	
混練終結確認容易性		混練終結時の色が明りようである						混練終結時の色が明りようであること	
引張接着強さ N/cm <sup>2</sup>	試験番号	①	②	③	④	⑤	平均	59以上  29以上  29以上  29以上  29以上	
	標準	接着強さ	263	323	310	275	337		301
		破断状態	G	G	G	G	G		————
	温水	接着強さ	224	257	197	223	220		224
		破断状態	G	G	G	G	G		————
	熱劣化	接着強さ	299	263	318	348	367		319
		破断状態	G	G	G	G	G		————
	低温硬化	接着強さ	253	267	282	245	245		258
		破断状態	G	G	G	G	G		————
	アルカリ水中	接着強さ	318	214	204	275	239		250
破断状態		G	G	G	G	G	————		
耐熱性		安定している						60℃、24時間4.5kgのおもりで安定していること	
ずれ抵抗性		ずれが生じない						ずれが生じないこと	

※G：モルタル破壊 100%

2. 磁器質タイルによる試験結果 [(財) 建材試験センターによる試験結果]

試験項目		試験結果						判定基準	
混練終結確認容易性		混練終結時の色が明りようである						混練終結時の色が明りようであること	
引張接着強さ N/cm <sup>2</sup>	試験番号	①	②	③	④	⑤	平均	59以上  29以上  29以上  29以上  29以上	
	標準	接着強さ	295	208	265	274	259		260
		破断状態	G:A 60:40	G:A 20:80	G:100	G:100	G:100		————
	温水	接着強さ	216	203	213	226	191		210
		破断状態	A:100	G:A 10:90	G:A 50:50	G:A 50:50	GA:100		————
	熱劣化	接着強さ	237	244	258	302	301		268
		破断状態	G:100	G:100	G:100	G:100	G:100		————
	低温硬化	接着強さ	296	300	268	310	286		292
		破断状態	G:100	G:A 90:10	G:100	G:100	G:100		————
	アルカリ水中	接着強さ	242	316	291	244	333		285
破断状態		G:100	G:100	G:100	G:A 70:30	G:100	————		
耐熱性		安定している						60℃、24時間4.5kgのおもりで安定していること	
ずれ抵抗性		ずれが生じない						ずれが生じないこと	

※破壊状態：G=モルタル破壊、GA=モルタルと接着剤の界面破壊、A=接着剤の凝集破壊 数値は破壊率%

梱包容量 EK370：20kgセット（主剤：10kg、硬化剤：10kg）缶入り

注意 本品は、皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

- 作業場所は十分に換気する。●取り扱いは、皮フにふれないように注意し、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、保護手袋、保護メガネなどを着用する。●容器からこぼれた場合には、砂を散布したのち処理する。●取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。●作業衣などに付着した場合には、すみやかにその汚れをよく落とす。●皮フに付着した場合にはすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。●蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じて医師の診察を受ける。●眼に入った場合には多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。●温度が40℃以下の場所を定めて保管する。また、使用後は密封する。●指定された以外の材料と混合しない。●温度が5℃以下になると、極端に硬化が遅くなる。

※使用にあたっては、製品安全データシート（MSDS）をお読みください。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませよう願ひいたします。（記載の性状等は2004年7月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願ひいたします。）

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10<sup>-2</sup>J、1MPa=1N/mm<sup>2</sup>です。1N/mm<sup>2</sup>は約10.2kgf/cm<sup>2</sup>に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社 **ボンド事業本部** 本 部/大阪市中央区平野町2-1-2(沢の鶴ビル) 〒541-0046 TEL06(6228)2961 FAX06(6228)2927  
 東京支店/東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) 〒101-0054 TEL03(5259)5737 FAX03(5259)2144

名古屋支店 TEL052(262)8173 FAX052(262)8175 仙台営業所 TEL022(211)5031 FAX022(211)4990 金沢営業所 TEL076(223)1565 FAX076(223)4794  
 福岡支店 TEL092(551)1764 FAX092(551)1545 北関東営業所 TEL027(324)3002 FAX027(324)1187 広島営業所 TEL082(507)1911 FAX082(507)6676  
 札幌支店 TEL011(612)0211 FAX011(612)0219 厚木営業所 TEL046(229)9610 FAX046(229)9636 高松営業所 TEL087(835)2020 FAX087(835)4623